

コクヨ株式会社
コクヨファニチャー株式会社
株式会社都市デザインシステム

～教育施設をホテルにコンバージョン(用途転換)～
「ホテル カンラ 京都」10月28日に開業

コクヨグループのコクヨファニチャー株式会社(本社:大阪市/社長:黒田 英邦)と、その子会社である株式会社都市デザインシステム(東京都渋谷区/社長:梶原文生)は、教育施設(※)をコンバージョン(用途転換)した「ホテル カンラ 京都」を10月28日にオープンします。

※当該施設は、学校教育法の「各種学校」に規定される施設です。

コクヨファニチャーは、主に法人向けのオフィス構築事業に加え、オフィスワーカーの「知的生産性」・「知的創造性」の向上、ワークスタイル変革などユーザー各々の持つ課題に応じた提案活動を展開しています。一方、都市デザインシステムは、建築・不動産の企画・設計・運営を数多く手がけています。

今回オープンする「ホテル カンラ 京都」は、建築主の要望であった「不動産の有効活用」に対して、都市デザインシステムが、教育施設からホテルにコンバージョンする提案を期に、コクヨファニチャーが参画したプロジェクトです。また、コクヨグループとして、ひとつのプロジェクトの中で「不動産の有効活用」のコンサルティングから企画・設計・空間デザイン・施工・家具・経営・運営の全過程に取り組んだ最初のプロジェクトとなります(オープン後のホテル経営・運営は都市デザインシステムが携わります)。

従来、コクヨグループでは、オフィスワーカーの「知的生産性」に加え、「知的創造性」向上のため、ワーカーのモチベーションの向上やコミュニケーションのあり方まで踏み込んでユーザー各々の課題を抽出しています。その上で、オフィスの執務空間のみならず、ラウンジやコラボレーション空間においてもワーカーの行動や感性に響くような提案をしてきました。コクヨファニチャーにとって、今回の「ホテル カンラ 京都」のプロジェクトへの参画は、ホテルという「非日常性」を体感する空間として、オフィス空間以上にユーザーの感性に訴える提案が求められたチャレンジングなプロジェクトとなりました。

コクヨファニチャーと都市デザインシステムは、コクヨグループとして、今後も本プロジェクトのようにオフィス空間にとどまらず「あらゆる空間」構築の実績を積み重ねていくことで、プロジェクトの各過程における技術を高めていき、ユーザー各々が抱える課題と要望に応じて、その提供価値を向上させて参ります。

○ホテルオープン: 2010年10月28日

○販売目標(都市デザインシステムホテル運営): 2億円(2011年1月～12月)

報道に関するお問い合わせ先は次の通りです。

コクヨグループ広報担当 TEL03-3474-6324 (平岩、海老澤)、 TEL06-6976-1277 (佐々木、竹房、辻倉)

<ホテル概要>

○名称:

「ホテル カンラ 京都」

○プロジェクト概要

1. 所在地: 京都府京都市下京区烏丸通六条下
北町185
2. 交通: JR「京都」駅中央口より徒歩8分／地下鉄
烏丸線「五条」駅8番出口より徒歩1分
3. 敷地面積: 853.52㎡
4. 延べ床面積: 3,091㎡
5. 規模: 地下1階地上5階
6. 客室数: 29室 (32㎡～103㎡)
7. 付帯施設: レストラン・ファンクションルーム
8. 設計: 株式会社都市デザインシステム・
コクヨファニチャー株式会社
9. 施工: コクヨファニチャー株式会社
10. 運営: 株式会社都市デザインシステム
11. URL: <http://www.hotelkanra.jp/jp/>
12. ユーザーお問い合わせ先:
「ホテル カンラ 京都」075-344-3815



○コンセプト:

1. 代々木ゼミナールグループとココヨグループの共同事業として、教育・環境・文化などの分野で社会貢献性の高いものづくりを目指し、※「エデュテインメント」をキーワードとしたホテルです。
※「エデュテインメント=edutainment(楽しみながら学ぶ)」とは「education(教育)」と「entertainment(娯楽)」を組み合わせた造語です。
2. 京都の歴史が育んできた「美」・「伝統」・「おもてなし」など、その文化の奥にある人々の知恵や想いに触れ思いがけない「気づき」と「学び」が生まれる楽しさを感じられるエデュテインメントホテル。

○ネーミング『感+洛』(カンラ)

1. 『カンラ』の“カン”は“感”、“ラ”は“洛”の字と由来としています。豊かな自然と歴史、伝統を抱く京都「洛」を、“気づき”を生む“学び”の場として「体感」していただくことで、そこから新たな伝統を育み、伝承していきたいという想いを込めて、ホテルカンラ京都のホテルとしての在り方を示しています。

○特長:

1. 既存の建物を再利用したコンバージョンホテルであり、LED 照明による消費電力の削減や、ソーラーパネルの採用などによって、環境に配慮した事業として国土交通省が管轄する省 CO2 推進事業実施支援室の『建築物省エネ改修推進事業』として認定されています。
2. ソーラーパネルの蓄電量表示や京都の文化や自然をモチーフとしたグラフィック、風呂敷や書道、かるたなどの日本文化を紹介する「カンラノート」など、子どもから大人まで愉しめるエデュテインメントの要素を持つホテルとして、様々な場面で京都や環境にまつわる学びや気づきをうながすきっかけづくりを行っています。
3. 「感謝の気持ちを手紙に綴る」「マイ箸づくり」「食を通して世界に目をむける」など修学旅行専用のプログラムも用意し、修学旅行の集客にも積極的に取り組んでまいります。
4. 基本の部屋タイプはマチャスタイルの約 50 平米。ベッドスペースと畳の間を配し最大 5 名まで宿泊可能。グループやファミリーに対応します。
5. 浴室は全室、香り高いヒバの木の浴槽と独立シャワーブースを備えています。
6. 100 平米のスイートルームは、寝室、リビング、茶室スペース、テラスとアウトバスを配し、丹波の山の眺望を楽しむことができます。

○デザイン:

1. 既存の建物を極力活かすことで細長い空間となった客室は、京都の伝統的な住宅形式である京町家の考え方を取り入れてデザインされた“マチャスタイル”です。
2. ココヨグループが展開するインテリアブランドショップ「ACTUS(アクタス)」と「カギロイ」がこれまでのノウハウを活かし、メゾネットルームをそれぞれプロデュースしています。
3. 客室の家具は都市デザインシステム設計、ココヨファニチャー製作によるオリジナルとなっています。
4. ロビーやレストランは、クリエイターとのコラボレーションにより、季節や時間、音や人の動きによって照明が変化するインタラクティブアートを取り入れ、和の要素と組み合わせることによって、斬新な空間が創り出されています。

<ご参考>

○株式会社都市デザインシステムについて

1. 所在地:東京都渋谷区恵比寿南1-11-12 エビスA・Hビル4階
2. 創業日:1992年6月20日
3. 設立日:2009年2月26日
4. 代表取締役社長:梶原文生
5. 事業内容:建築・不動産のコンサルティング・企画・設計・デザイン、ホテル運営およびコンサルティングなど
6. 資本金:1億円
7. 株主:ココヨファニチャー株式会社(100%)
8. URL:<http://www.uds-net.co.jp/>